

令和7年度
新潟市マンガ・アニメ情報館 及び 新潟市マンガの家
運営事業計画書

令和7年度の重点目標

- 情報館・マンガの家両館合わせて50,000人以上を集客する。
- 情報館・マンガの家共にスペースの新しい利用方法を企画・実行し、歳入や自主事業の増収を図る。
- 物価高に応じた運営の効率化・見直しの推進

【施設運営】新潟市マンガ・アニメ情報館

① 常設展示室

一部コーナー展示の入れ替えや新規取り組みによる新たな価値向上を目指す。

■各展示コーナーコンテンツ、機器の入れ替え

- ・「声優になってみよう」コンテンツ・システム入れ替え
- ・「とばしてワンワンあててワンワン」廃止に伴う新展示の設置

■ピックアップコーナーのミニ展示を通して情報発信頻度を高める。

- ・「にいがたのマンガ・アニメクリエイター」には入りきらない最新の「ゆかり作家」情報をパネル展示にて随時更新する。
- ・産業、教育などにおける分野活用事例を集めた展示を行う。

実施予定：9月

■企画展を開催していない期間を利用して施設の外部利用機会を設け、施設の新しい価値を創出する。

主にアニメスタジオ、コンテンツ開発企業、学校を中心に誘致し、ネットワークづくり、教育支援に寄与するとともに入場料収入増の効果も狙う。

実施予定：2月）開志専門職大

2月）新潟国際アニメーション映画祭

■小中学校向け団体誘致プランの実施

同分野の職業啓蒙としてキャリア教育施設と小中学校などの今後はより市外、県外な

どの学校様に繋がれるよう旅行企画会社などへのアピールを増やし誘客に繋げる。
進行予定：4月～6月）デザイン、広報

■海外客への対応強化

- ・掲示POPに可能な限り英訳表記を入れる。

② 企画展示室

- マンガ、アニメのコアなファンに向けた作品の他、年齢層や嗜好を問わず広く認知された作品などを織り交ぜ、より広い市民の方においでいただけるような展覧会スケジュールを構築する。令和7年度は社会トレンドとなる人気アニメ作品展を多く開催。

○TVアニメ「うる星やつら」展

令和7年4月5日～5月6日（32日間）

※同作原作者、高橋留美子氏は新潟市出身。古町との回遊連動企画により地元感をアピールする。

○TVアニメ「薬屋のひとりごと」展

令和7年5月23日～6月15日（24日間）

※現在アニメ2期放送中の大人気トレンド作品。特に20～30代女性からの人気が高く、施設として新たな来客層を期待できる。

○WIND BREAKER（ウィンドブレイカー）展

令和7年6月21日～7月27日（37日間）

※4月からTVアニメ2期がスタートし、10代を中心に人気が急上昇している作品。

他3回

【施設運営】新潟市マンガの家

① 常設展示コーナー

各所稼働の維持管理強化と新規の取り組みによる新たな価値向上を目指す。

- 蔵書メンテナンス強化と新潟ゆかりの作家、作品の購入を随時進める。

- 蔵書コーナー『おすすめ本棚』

開志専門職大学アニメ・マンガ学部学生による推薦作品を並べた本棚を作成。PRする

POPなども作成し掲示する。

入替実施) 年 4 回

■創作系同人誌即売会コミティアとの連携

同即売会の新潟開催に合わせて同人誌の読書会を実施する。誘客と同時に創作活動を支援する施設というコンセプトをPRする。

実施予定) 6月 12月

② 企画展示コーナー

■地域資源を活用した展示を年 1 回以上開催する。

○マンガの家シリーズ企画展『オシエシ（推し絵師）！』（仮）

昨年度から継続実施。新潟市在住の若手クリエイターを発掘し紹介するミニ展示会。

実施予定) 8月、11月

○『にいがたマンガ大賞作品展』

令和8年2月～3月

※同賞入賞作品や作家応援イラストなど展示。部門ごとに展示入替する。

○地域イベント関連展示

・5月、10月「古町どんどん」

※イベントポスターやPRマンガの掲示。

実施予定) 5月、10月

・2月「新潟国際アニメーション映画祭」

※イベントポスターやPRマンガの掲示などを検討。

実施予定) 1～2月

③ 制作・体験プログラム

■同分野に限らず、広く創作支援につながる体験内容を下記のように新規企画しメニューを増やす。

○開志専門職大学実習生によるオリジナル制作講座

※実習生が企画から運営を担当。内容の精査や指導などを行う。

実施予定) 8月 12月

○マンガの家カレンダーカットイラストコンテスト

※カットイラスト制作講座から作品を募集。相応しいものはカレンダーカットに採用

する。

実施予定) 8 月

○『本をつくろう』講座

実施予定) 12 月

※コミティア、ガタケットなどの同人誌即売会参加無料招待を含め訴求する。

○『小説・マンガ原作を書こう』講座

実施予定) 1 月

○『にいがたマンガ大賞こどもマンガ塾』

※昨年度から名称を変更し実施。参加者から同賞応募に繋げる連続講座。計 6 回開催予定。

実施予定) 6 月～9 月

情報館及びマンガの家 連携事業

■情報館開催企画展との連携企画を主に展開し両館の施設利用促進と街の回遊に効果を上げる。

○4 月) TV アニメ「うる星やつら」展古町回遊企画

・情報館会場の入場半券の提示でオリジナルノベルティを進呈。マンガの家、はり糸、佐藤菓子店の古町 3 軒を回遊する企画。

他施設・イベント連携事業

市内外他施設・店舗や市内学校との連携を積極的に進め、両館の認知を拡大する。

■東アジア文化都市交流事業への参加

実施予定) 7 月

※韓国清州市、中国青島市との文化交流事業にてマンガ体験講座で参加。

■新津美術館『出前美術館』

実施予定) 7 月、9 月

※市内小学校でのマンガ制作講座講師派遣

■三条市立図書館まちやま『出張版マンガのいっぽ』

実施予定) 5 月、8 月、10 月

※マンガ制作講座講師派遣

広報・PR活動

- 同分野ファンとの親和性が高いデジタル広告メディア（Google、X、インスタなど）を積極的に活用し、紙媒体の告知物を減らすことで資源の効率化を図る。
 - ・情報館企画展ごと随時実施
- BSN新潟放送主催声優トークイベントへの協力を通じて館の認知を拡大する。
現在年度内開催企画進行中。
※企画作成、広報デザインなどで協力。
- アウトリーチの積極展開。小中学校や他施設との連携を深める。
- 市、県の観光課と連携し海外ユチューバー取材の誘致及び機会を増やし、海外客誘致へアプローチする。
- 地域企業などとコラボしたキャンペーン、商品開発を進め話題を創出し、メディア掲出機会を増加させる。
- 施設アンケートの中心を二次元コード、Google Form などデジタルメディアを使ったものに切り替えスムーズなアンケート誘導を行い、即時運営に反映する。
両館実施開始）5月～

自主事業

現状のミュージアムショップ、展覧会物販事業に加え、各企画展やイベントに合わせた商品を開発し話題性と利益の向上を図る。また、商品の開発には市内事業者との連携を基本とする。

- マンガ制作画材セットの開発、販売
6月～9月のにいがたマンガ大賞こどもマンガ塾に合わせ販売する。
- 有料の制作講座を検討する。
上記販売画材とセットにした講座を企画。
- 缶バッチサービス有料化の検討。